

平成28年度

熊谷市立三尻中学校 道徳だより



第 1 号

昨年度は、本校の道徳教育への御支援、御協力、ありがとうございました。今年度も『道徳だより』を発行し、道徳教育に関して、学校でどんな取り組みをしているのか、子どもたちはどんな学習をし、授業を通してどんな考えや思いをもったのかを紹介していきたいと思っています。また、授業予定や心が温くなるエピソードや詩の紹介もしていきたいと考えています。

学校における道徳教育は、子どもたちが人間の在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育てていくことを目指しています。そこで、道徳の時間（年間35時間）を要として、学校の教育活動全体を通して子どもたちの道徳性を育む指導を行っています。道徳の時間では、副読本や「彩の国道徳」、「心の絆」をはじめとして様々な資料を使い、様々な価値項目について考え、道徳的実践力を身につけていきます。ただ、道徳の授業を行ったからといって、すぐに子どもたちが変わるわけではありません。授業を地道に行うことで、そして、学校と家庭・地域が同じ視点に立ち、子どもたちの豊かな心を育てていくことで、道徳性を自覚し、実践にもつながっていくものだと思います。この「道徳だより」が学校と家庭・地域との懸け橋となり、道徳性の育成の一助となるよう努めていきたいと思っています。御家庭でお子様を交えて道徳の時間について話をする機会を設けていただけるとありがたいです。宜しくお願い致します。

★「家庭用 彩の国の道徳」・・・



平成22年度より埼玉県教育委員会独自の道徳教材『彩の国の道徳』を使用した授業が行われています。また、平成23年度に家庭と学校が同じ視点に立ち、子どもたちの豊かな心を育てていこうとの思いで発行された『家庭用 彩の国道徳』が東日本大震災に関連した出来事を題材に作成した道徳教材『心の絆』の資料を追加するなどの形で改訂され、昨年度、各家庭に配付されました。学年が変わっても引き続き活用していく本ですので、御家庭で保管していただきますよう、お願いいたします。『家庭用 彩の国道徳』には「家族で確認、家庭のルール!」や、チェックシートなどもついていますので、親子で確認をする機会を設けてみてください。

《内容》主に、「読み物資料」と「コラム」の2部構成

《特徴》①書き込み資料→「家庭のルール」など家庭で話し合い、書き込みができる欄を掲載

②読み物資料→彩の国の道徳の中から、特に家族で共に考え、話し合いができる読み物資料

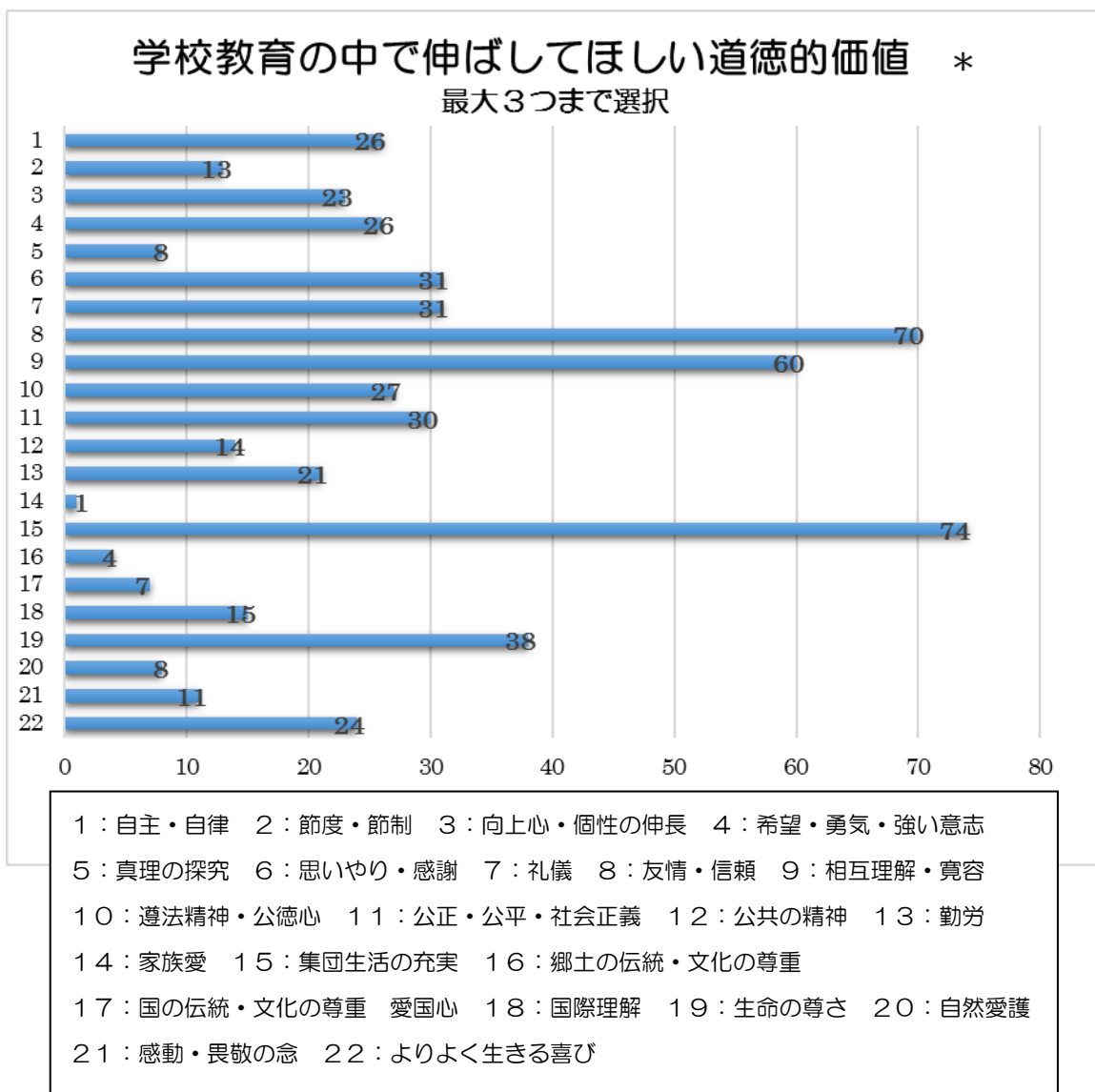
19編を掲載

③コラム→【『子育ての「さ・し・す・せ・そ』』や『子供のほめ方、しかり方』』など

子育てのワンポイントアドバイスなどを掲載

★ 保護者アンケート…

昨年度末、現2・3年生の保護者の皆様に道徳教育に関するアンケートを実施させていただきました。結果は、以下の通りです。



保護者の思い・願いを受け、今後の道徳教育に努めていきたいと思っております。アンケートへの御協力、ありがとうございました。

★ 道徳の話

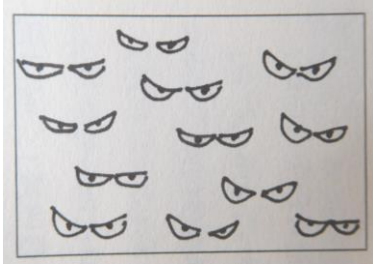
4/25～5/13は「人権旬間」です。全校朝会での校長講話、人権作文の作成、道徳の授業などを通じ、人権について考える機会をもちました。人権旬間にちなんで、今回は『子どもたちが身を乗り出して聞く 道徳の話』（平光雄・著 致知出版社）から「寛容 平気で失敗できる仲間を作る」の一部を紹介したいと思います。

【紙芝居「裁きの目」と「応援の目」】

「これからどんな雰囲気のカラスにしたい？」

「楽しいカラス」「協力し合えるカラス」「励まし合えるカラス」「いじめのないカラス」などの意見が出る。

「うん、そうだよね」



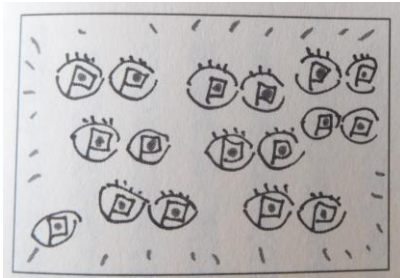
「もし、みんながこんな雰囲気を持ったカラスだったら、どう？」
笑いとともに、「わーいやだ」「こわい」という声が出る。

「そうだよね。みんながこんな怖い目をして、みんながみんなを裁いているようなカラス、いやだよなあ」

「これを『裁きの目』と呼ぼう。要は、いつも人を監視して、あら探しをしている目だ。『こんなこともできないのか、ふん』

『ヘタだなあ』『ははは、失敗しやがった』って思いながら互いを見つめている……いやだよなあ、そんな雰囲気。みんな失敗を恐れるようになってしまう。」

「そうじゃなくて、このカラスは、これでいこう！」



「お互いが『応援の目』をもって見つめ合うカラス。たとえ、つまずいている子がいても、失敗する子がいても『がんばれ、がんばれ』『ドンマイドンマイ、失敗も何のその！がんばれがんばれ』という目だよ」

「いいねー」

「で、誰かががんばったら、みんなで大拍手だ」

「こうした『応援の目』でみんながみんな応援し合って一年間やっていこう！」

「寛容」の心は、お互い応援し合い、励まし合う中で育まれていくのである。

『応援の目』があふれる、そんな三屍中学校にしていきたいと思います。そして、生徒一人一人が互いの個性を受け入れ、「認め合い」、「励まし合い」、「高め合い」、学校生活が充実したものになるようにしていけたらと思います。

*** 次号では、4/30(土)の授業参観で行われた1年生・2年生の道徳授業を紹介したいと思います。**

● 5月の授業予定…

☆ 1年生

資料名	ねらい
涼風	温かい人間愛をもって生きることの素晴らしさを理解し、他の人々に対して思いやりの心を大切にしたい行動を取る態度を養う。
長縄跳び	集団における自己の立場や役割を理解し、進んで集団生活の向上に努めようとする態度を養う。
認められたクラブ	真理を求め続け、理想の実現をめざして自己の人生を切り開いていく意欲を育てる。

☆ 2年生

資料名	ねらい
伝言板	人とのかかわりの中で、温かい人間愛の精神を深め、感謝と思いやりの心をもつ心情を養う。
山に憑かれた男	集団内での自分の立場や役割を自覚し、進んで自己の役割を果たそうとする態度を養う。
足袋の季節	自らの弱さに気づき、そのうえで弱さを克服していける自分になろうとする態度を育てる。

☆ 3年生

資料名	ねらい
よみがえった笑顔	勇気をもって公正・公平に接するように努め、差別や偏見のない明るい社会を築こうとする態度を育てる。
人に迷惑をかけないということ	望ましい生活習慣を身につけ、決まりよく生活することを通して自らの生き方を正し、調和のある生活をする態度を育てる。
上級学校を訪ねて	きまりやマナーを守ることの意義を自覚し、積極的に社会の秩序と規律を高めようとする態度を育てる。